



市民協働・職員力・全国学力テストについて

質問項目の主なものを掲げます。高島市協働事業提案募集について



前川 勉 議員

市民協働・職員力・全国学力テストについて

市民と職員が共通目標に向かうプロセスを大切にします。

採択者との取組み。

市民と職員が共通目標に向かうプロセスを大切にします。

審査講評を踏まえ、市民と担当課職員が共通目標に向かって議論し、相互に啓発し、理解を深めながら、協議調整を行います。

自ら考え行動する自立型職員を目指し一人ひとりの職員力アップが求められています。

特別支援教育の体制について

特別支援教育の体制において、現在市では、小中あわせて15名の支援員という臨時職員（最長1年の雇用）を配置していますが、支援員は、時間をかけて対応の仕方や接し方等のキャリアを積んでもらうことが重要と考えますので、継続雇用

のできるようにすべきではないかを問います。

特別支援教育支援員は市内の小学校10校に11名、中学校4校に4名に各校の実情に応じて配置しています。支援員はそれぞれ校長の指揮監督のもとで職員との連携を図りながら、児童生徒に学習面および生活面での支援を行っています。

民協働交流センターとの関係。

丁寧な説明と次につながる支援、特に交流センターと連携して情報提供や専門家の紹介、助言等を行います。

市職員の「職員力」について

いま求められる職員力とは。

職員力の向上を目指します

組織外専門研修受講実態と必要性。

職員研修センター等が実施する研修に本年度は74人が受講し、今後外部の専門的な研修に積極的に参加する必要があります。

組織内研修（OJT）の実施状況と評価。

所属長を中心に職場でのOJT研修が実施され、職員力の向上が図られています。

小・中学校の全国学力テストについて

受検校（抽出校・自主参加校）の状況。

小・中学校の全国学力テストの結果は、市内小中学校の12校が抽出校、9校が自主参加（希望利用）校として対象学年がいる全校が受けています。

試験結果は、小学校の国語、算数・数学ともに、小学校の一部の領域を除いては、おおむね全国レベルの状況であると言えます。

市教委・各学校の全国学力テスト結果の活用。

各学校においては、この結果をもとに、自校の学力向上策の見直しを図り、授業改善等に取組んでいます。

市長は選定委員会の決定と異なる判断をしましたが、その経過の説明を。

委員会の審査報告をもとに、申請内容を精査し、総合的に判断したものです。

その場合、選定委員会の再協議を求めると市民に透明な仕組みが必要ではないでしょうか。

候補者決定にあたり「委員会の意見を聴く」のは、市だけでは評価しきれない部分を補うためのものです。

市長は観光協会と市商工会を、公募の段階で除外する意思があったのではないですか。

道の駅等の指定管理者選定、公平公正。透明性は絶対必要！

森脇 徹 議員

産業経済部長

指定管理の公募要件は、市内に事業所を置く法人・その他の団体であり、公募段階から除外する意思は全く考えておりません。

6施設を指定管理している観光協会が、収益と体制を一体として運営してきたことをどう評価してきましたか。今後、他の事業者に移す方針ですが、各施設を束ねる観光発信と観光自治協働が可能ですか。

道の駅の運営においては「地域連携」の理念を失わない限り、観光自治協働も可能と

思います。

山の荒廃を止めよう

国は来年度から「森林再生プラン」を本格実施し、山の集団化で成木間伐や搬出が可能となります。山林所有者の境界を確認し合うことが前提です。

市の境界明確化事業を森林行政でどう位置づけていますか。

「水源の郷」地域で不在地主が年々増える深刻な事態をどう把握していますか。

「市林業再生計画」を策定し、トチノキなどの巨木伐採届け、市水道水源林分の保全義務づけ等、条例規則を盛り込んだ再生計画の策定が必要ではないですか。

産業経済部長

森林境界の明確化に努めます

国の新たな制度の中で、施業集約化に欠か

りません。

市民は市役所職員を信頼。頼りにしている

職員として何よりも事業内容、地元や地権者の思い、現場状況が理解できる力を身に付け、国・県事業等の話し合いや立会いの場では市民の思いを十分に理解して時には市民の立場に立って意見を述べ、改善を求めるべきものは担当者につかりと意見していく姿勢が必要と考えます。市民の心情に寄り添い責任を持って行動し、市民から信頼される職員を育成してまいります。

市民から信頼される職員を育成します

その他の質問



適正な整備・保全が求められる森林

（※）雨水を吸収し、河川の流量を調節する。

日米合同演習、在沖縄米軍拡散に平和都市宣言の立場で毅然と意見を



市民は市役所職員を信頼。頼りにしている



澤本 長俊 議員

職員はこういった思いで、またどういった立場で立ち会おうべきと考えているのかを問います。

市民から信頼される職員を育成します

職員として何よりも事業内容、地元や地権者の思い、現場状況が理解できる力を身に付け、国・県事業等の話し合いや立会いの場では市民の思いを十分に理解して時には市民の立場に立って意見を述べ、改善を求めるべきものは担当者につかりと意見していく姿勢が必要と考えます。市民の心情に寄り添い責任を持って行動し、市民から信頼される職員を育成してまいります。

山が荒廃を止めよう

国は来年度から「森林再生プラン」を本格実施し、山の集団化で成木間伐や搬出が可能となります。山林所有者の境界を確認し合うことが前提です。

市の境界明確化事業を森林行政でどう位置づけていますか。

「水源の郷」地域で不在地主が年々増える深刻な事態をどう把握していますか。

「市林業再生計画」を策定し、トチノキなどの巨木伐採届け、市水道水源林分の保全義務づけ等、条例規則を盛り込んだ再生計画の策定が必要ではないですか。

産業経済部長

森林境界の明確化に努めます

国の新たな制度の中で、施業集約化に欠か